

ウェルウォーク通信

～岡山リハビリテーション病院の取り組み～

日頃はウェルウォークをご愛顧いただきまして誠にありがとうございます。今回は、プロトタイプ時代からウェルウォークを活用いただいている『岡山リハビリテーション病院様の取り組み』についてご紹介致します。

岡山リハビリテーション病院

- 【事業構成】回復期病棟129床 + 通所リハ + 訪問リハ
- 【療法士数】PT58名(WW操作可能19名)、OT40名、ST14名
- 【患者層】回復期病棟の6-7割が脳血管疾患



ウェルウォーク導入の歴史

当院は現場発案の稟議で2018年にGEARを導入しました。現場の理学療法士目線での運用を心掛けてきましたので、従来の臨床で難渋するような重症例への運用経験は多いと思っています。WW-1000、WW-2000を通して200症例以上の患者さんと共に歩んだ経験を活かし、これからもウェルウォークを練習の一道具として活用していきたいと考えています。

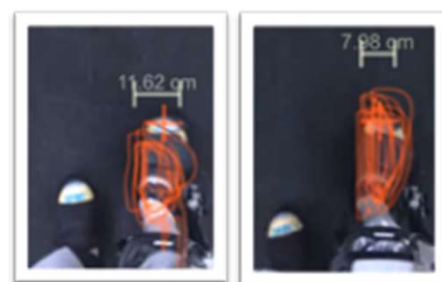
ウェルウォーク活用のための取り組み

- ・新人療法士へのウェルウォークオリエンテーション
- ・ロボットリハ概論・運動学習研修の開催
- ・毎月のウェルウォークチームでの症例検討会の実施
- ・ウェルウォークサテライト研究会での発表や参加の奨励



ウェルウォークに関する臨床的な研究

- ・WW-1000の多施設共同研究への参加
- ・重度麻痺患者へのウェルウォーク運用の適応検討
- ・慢性期脳卒中片麻痺者へのウェルウォーク練習の活用
- ・ウェルウォーク運用時のデバイスのバリエーション検討
- ・二次元動作解析ソフトdartfishを用いたウェルウォーク中の歩容評価



dartfishを用いたぶん回し歩行の評価

学会発表・研究会講師などの実績 (42件以上)

- ・歩行練習アシストGait Exercise Assist Robotを使用し早期に歩行獲得に至った脳卒中重度片麻痺例
大島（総合リハ46巻3号2018）
- ・脳卒中症例に対する歩行練習アシストの使用経験
花川（義肢装具学会誌34巻3号2018）
- ・慢性期脳卒中に対するGait Exercise Assist Robotの効果～シングルケースABABデザインによる検討
浅野（理学療法学48巻4号2021）



担当者（浅野智也先生）からのコメント

通所リハビリ利用者に対してGEAR実施、はじめて論文を手掛けました。回復期と違い自然回復の影響が少なくなるので、慢性期患者への練習効果は研究しやすいと思いました。興味のある方は参照いただくか、ご質問ください。